

情報工学府博士前期課程学際情報工学専攻
教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）

（１）知識・理解

【高度な専門知識・理解】

情報科学・情報工学の基盤技術の成果を活用・展開して学際領域を開拓するための境界領域に関して、システム創成情報工学，機械情報工学，生命情報工学のいずれかの専門分野において研究・開発・問題解決等を実現するための能力を修得させる教育を実施する。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

情報科学・情報工学の学際領域の知識・技術が社会で果たす役割を理解できるようにするための教育を実施する。

（２）汎用的技能

【高度な実践的問題解決スキル】

実践的な問題解決能力を有し、研究開発に必要な情報科学・情報工学の学際領域の知識・技術を修得させる教育を実施する。

【高度なプレゼンテーション力】・【コミュニケーション力】

情報科学・情報工学の学際領域の研究開発に必要なプレゼンテーション能力及び外国語によるコミュニケーション能力を身につけさせるための教育を実施する。

（３）態度・志向性

【技術者の態度・志向】・【自律性】・【チームワーク力】

未知の専門的課題に対して、情報科学・情報工学の学際領域の知識・技術を用いてその解決に向けて努力する意思を持ち、チームの一員として課題解決に取り組むことができる能力を身につけさせるための教育を実施する。